

平成 28 年度公衆衛生事業部全国研修会開催要領

趣 旨 団塊の世代が 75 歳以上となる 2025 年に向けて、全国各地で高齢者に包括的な支援・サービスを提供するための地域包括ケアシステムの構築や在宅医療などが推進されています。

こうした情勢を踏まえ、(公社)日本栄養士会では、在宅医療・介護に関しては、低栄養等の栄養課題への対応が重要であるとし、公衆衛生事業部においては、県と市町村が連携し、行政栄養士が専門職である管理栄養士としての能力を発揮し、地域包括ケアシステムの構築につながる高齢者の栄養・食生活施策を展開することが求められています。

そのため、本研修会では、高齢化社会を見据えた国の施策や地域包括ケアシステムの目指す方向性を学ぶとともに、具体的な先進事例を通して、地域高齢者の疾病の治療・予防、健康維持に不可欠な栄養・食生活施策への理解を深めます。

また、シンポジウムとグループ討論を通じて、現状や課題、具体的で有効な施策展開とその体制づくりの背景を共有し、地域包括ケアシステムの構築にあたり、行政栄養士がどのような役割を果たしていくべきかを考える機会とします。

テーマ 「地域包括ケアシステムの目指す方向性と行政栄養士の役割 ～低栄養等の栄養課題への対応～」

主 催 公益社団法人日本栄養士会 公衆衛生事業部

期 間 平成 28 年 8 月 25 日(木)・26 日(金)

会 場 TKP 御茶ノ水会議室 (502+503 会議室)

東京都千代田区神田駿河台 2-3

TEL:03-4577-9240 <http://www.kashikaigishitsu.net/facilitys/kg-ochanomizu/access/>

内 容

第 1 日(8 月 25 日)

12:45～13:00 受 付

13:00～13:15 開会挨拶・オリエンテーション

13:15～14:30 講演Ⅰ「2025 年に向けて、地域の特性に応じた地域包括ケアシステムの構築」(仮)

<講演・質疑応答> 厚生労働省老健局振興課 課長補佐 谷内 一夫

14:30～15:45 地域高齢者の低栄養防止・重症化予防等の取組事例

<報告・質疑応答> 神奈川県大和市役所健康福祉部健康づくり推進課地域保健活動担当係長

田中 和美

埼玉県和光市非特定営利活動法人ぽけっとステーション 代表理事

山口はるみ

15:45～16:00 休 憩

16:00～17:30 講演Ⅱ「フレイル対策のための低栄養予防について(仮)」

<講演・質疑応答> 東京都健康長寿医療センター研究所副所長 新開 省二

18:30～20:30 情報交換会

第 2 日(8 月 26 日)

9:30～12:00 シンポジウム「地域包括ケアシステム構築に向けた取組の実際」

本 庁：群馬県健康福祉部地域包括ケア推進室 係長 神山 智子

市町村：群馬県前橋市介護高齢課介護予防係 主任管理栄養士 藤田 房枝

群馬県板倉町健康介護課健康推進係 主任 森戸 理江子

保健所：兵庫県阪神北県民局伊丹健康福祉事務所 健康管理専門員 諸岡 歩

コーディネーター：公衆衛生事業部企画運営委員長 阿部 絹子

12:00～13:00 昼食・休憩

13:00～14:30 グループ討論「低栄養等の栄養課題への対応の現状と課題を踏まえて

地域包括ケアシステムにおける行政栄養士の役割を考える」

14:30～14:45 休 憩

14:45～15:30 全体討議・意見交換・まとめ

閉会

対 象 国、都道府県、市区町村の行政機関に勤務する管理栄養士・栄養士

参加定員 100 名

参加費 15,000 円(税込) (日本栄養士会会員割引価格 8,000 円(税込)) ※資料代

情報交換会費 5,000 円(税込) 定員 50 名(先着順) ※情報交換会は別会場となります。

申込締切 平成28年 8 月 15 日(月) ※但し、定員になり次第締め切ります。

申込方法 (公社)日本栄養士会ホームページ <http://www.dietitian.or.jp/>「研修会」より、お申し込みください。WEB でのお申し込みができない方は、下段の申込書に、勤務先区分、管内人口等必要事項を記入のうえ、返信用封筒を添えて(長 3 封筒、82 円切手貼付、送付先を明記)下記へお申し込みください。確認後、受講票・参加費等の払込票を送付いたします。また、参加にあたり、事前課題のお知らせをさせていただく場合がありますので、添付ファイルの受け取れるメールアドレスを必ずご記載ください。

※参加費は、本会指定の銀行振込またはコンビニ支払とさせていただきます。(当日現金での受け渡しは致しかねます。) また、その際に発生する振込手数料についてもご負担願います。

※請求書、領収書が必要な場合は、「連絡事項」に記載してください。また宛名に指定がある場合は併せて記載してください。記載のない場合は申込者名とさせていただきます。

※受講票発送後のキャンセルはお受けできませんので、請求された金額をお振込みください。

※既納の参加費等につきましては、原則としてお返しいたしません。

※お振込は、可能な限り事前支払いをお願いいたします。

※領収書の発行には振込控えが必要となります。お振込み後、控えを郵送または当日受付にてお渡しください。入金の確認が取れ次第、領収書を郵送にて送付いたします。研修会当日、領収書を希望される方は事前にご連絡をください。

申し込み先 (公社)日本栄養士会公衆衛生事業部(担当:塩川)
〒105-0004 東京都港区新橋 5-13-5 新橋 MCVビル 6 階
TEL 03-5425-6555 FAX 03-5425-6554

生涯教育：3 単位（講義 2 単位、演習 1 単位）

.....キ.....リ.....ト.....リ.....線.....

[平成 28 年度 公衆衛生事業部全国研修会] 申込書

ふりがな 氏 名	所属栄養士会名：		☐ 非会員
	会員 No.		
現住所	〒 Tel — —		
E-mail	@		
勤務先			
勤務先所在地	〒 Tel — —		
備考	区 分 (都道府県 ・ 保健所設置市 ・ 特別区 ・ 市町村) 勤務先区分 (本庁 ・ 保健所 ・ 保健センター) 管内人口 (人)、行政栄養士としての経験年数(年)		
連絡事項	請求書[要・不要] 宛名： 領収書[要・不要] 宛名： 情報交換会[希望する ・ 希望しない]		